

2026年4月27日
日鉄物産システム建築株式会社
代表取締役社長 宇野智

品質におけるブランド価値の更なる向上に向けた取り組み

日鉄物産システム建築株式会社は、全国に広がる鉄骨製作協力会社ネットワークの品質レベルを一層高めるため、外部専門家の知見を取り入れた品質指導・改善活動を開始する。取り組み期間は2026年4月から2029年3月までの3年間で予定する。

当社は自社工場を持たず、全国にわたって組織している鉄骨製作協力会社ネットワークを製造面の強みとしている。一方で、協力会社の数が多く拠点も広範囲に及ぶことから、品質レベルの統一化は容易ではなく、品質の確認・是正・指導において生産管理担当者の労力が大きいことが課題となっていた。

今回の取り組みの最終目的は、鉄骨製作協力会社における品質不具合の撲滅である。あわせて、外部の専門家による「共通の評価軸」を導入し、品質のばらつきを解消することで、ブランド価値のさらなる向上を図る。さらに、品質管理の仕組みを標準化・高度化することで、生産管理担当者の業務効率化にもつなげていく。

本取り組みでは、外部専門家である大学の先生方にご協力頂くことで、協力会社への品質指導・改善支援を行う。

第三者の視点に基づき、協力会社間で基準の解釈がぶれにくい「共通の評価軸」を整備し、改善の優先順位付けや再発防止策の実効性を高める。

以上